

バタリーケージの卵を食べたくない!!

バタリーケージとは

ワイヤーでできたケージの中に鶏を入れ、それを何段かに重ねて飼育する方式です。卵が転がりやすいよう、ケージは傾斜しています。

鶏1羽あたりの平均スペースは 470cm² 程度

これは22cm×22cmにも満たない大きさです。日本の採卵養鶏の90%以上で、このバタリーケージ飼育が行われています。(数値は2007年畜産技術協会調べ)

✓ **巢・止まり木・砂場** このせまいケージの中には**止まり木も、巢も、砂場もありません**。鶏は本来、朝起きたら羽ばたきし、毛づくろいをし、砂浴びをして羽をきれいにし、一日に15000回地面をつつき採食する動物です。巢の中に隠れて卵を産みたいという欲求もあります。しかし、この金網の中では、それらのことは、かないません。砂場がなくとも、鶏たちはしばしば給餌箱に頭をつっこみながら両翼を動かし、砂浴びの真似事をします。羽は汚れ、金網ですれ切れます。土の上を歩いていれば自然に擦り切れる爪は、伸びきり、金網にからまります。

✓ **デビーク** 過密飼育による、つつき合いで傷つけ合うことを防ぐために、**鶏にはデビーク(くちばしの切断)が行われています**。デビークは日本の採卵養鶏の約50%で実施されています(2007年畜産技術協会調査)。デビークは麻酔なしで行われます。くちばしの表面の角質層と、骨の間には神経と血管の通ったやわらかい組織があり、デビーク時には出血し、鶏は痛みで苦しみます。

